

令和2年度 第44回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦況用紙

男 43

男子 準々決勝

会場 小瀬スポーツ公園体育館 コート A

チーム名

チーム名

駿台甲府	<u>30</u>	[16	-	18]	<u>35</u>	大阪体育大学 浪商
			14	-	17			
			-		-			
			-		-			
			-		-			
			7mTC					

地元山梨代表・駿台甲府が試合開始早々からアグレッシブなディフェンスからの速攻などで4連取、

試合の序盤を支配する。大体大浪商も11分過ぎから下川、坂井らで3連取など徐々に追い上げ、23

分、ついに13-13の同点に追いつく。さらに大体大浪商は、27分半過ぎから安達、土岐、竹下で

3連取、18-16と逆転に成功して前半を折り返す。

後半は互いに2点ずつを取り合う展開が始まるが、駿台甲府は5分半から清水、渡邊らで4連取、

22-22の同点に追いつく。大体大浪商は12分過ぎから下川、坂井、竹下の7mTで3連取、再び

リードを奪うと、その後は駿台甲府に連取を許さない厳しいディフェンスを展開、35-30で勝利を

もぎ取り、明日の準決勝進出を果たした。

令和3年 3月 27日

記載者氏名 市瀬祐樹